第 186 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)

A. 日時：2007 年 5 月 24 日(木) 13:00～15:00

B. 場所：中部電力 岡崎支店 会議室

C. 出席者(順不同，敬称略)：

委員長： 穂積(愛工大)

委　員： 礒嶋(住友電工)，伊藤(日本ガイシ)，本城(三菱電線)，渡辺(日立電線)，高橋亨(ビスキャス)，東村(日立)，岡本(富士電機アドバンステクノロジー)，中坊(日新電機)，田中祀(早稲田大学)，江原(武蔵工大)

幹　事： 田中康(武蔵工大)，内田(中部電力)

幹事補： 岡下(昭和電線)，高橋俊(電中研)

以上計 15 名

D. 提出資料

番号なし 第 185 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)　幹事団

186-1　誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿　幹事団

186-2　第 72 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録　幹事団

186-3　電気学会 高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 第 2 回，第 3 回議事録　田中康幹事

186-4　電気学会 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会 第 5 回議事録(案)　本間委員

186-5　繰り返しインパルスにおける部分放電計測 調査専門委員会 設置趣意書　幹事団

186-6　調査専門委員会フォローシート(2007 年度計画)　幹事団

186-7　平成 19 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)　幹事団

186-8　誘電・絶縁材料研究会(テーマ「ポリマーがいし」)　幹事団

186-9　誘電・絶縁材料研究会(テーマ「高分子ナノコンポジット材料の諸特性」)　幹事団

186-10　誘電・絶縁材料研究会企画案　穂積委員長

186-11　第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催案内および発表講演募集　幹事団

186-12　2008 年度 電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 学術貢献賞 犬石賞および電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 技術貢献賞 矢作賞の推薦募集について　内田幹事

186-13　2008 International Symposium on Electrical Insulating Materials Call for papers(案)　幹事団

186-14　経産省・NEDO 策定「省エネルギー技術戦略 2007」への対応　幹事団

E.議事内容

1. 議事録の確認，承認

高橋俊幹事補より第 185 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録(案)の報告があり，承認された。

2. 名簿確認，新委員紹介

資料 186-1 が確認された。修正事項等あれば，岡下幹事補まで各自連絡することとした。

3. 第 72 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

資料 186-2 が高橋俊幹事補より報告された。当技術委員会関連の事項として，A 部門大会への論文投稿および参加の奨励があったこと，委員交代が承認されたこと，放電技術委員会と共同(主格：放電技術委員会)でのインバータサージ関連の調査専門委員会の設置趣意書が承認されたことなどが報告された。

4. 高分子材料と放射線・・・調査専門委員会

同調査専門委員会の第 2 回議事録として，資料 186-3 が田中康幹事より報告された。

5. 屋外用ポリマー絶縁材料の・・・調査専門委員会

同調査専門委員会の第 5 回委員会議事録(案)として，資料 186-4 が本間委員に代わり高橋俊幹事補より代理報告された。

6. 繰り返しインパルス・・・調査専門委員会 設置趣意書

放電技術委員会との共同設置(主格：放電技術委員会)による同調査専門委員会の設置趣意書として，資料 186-5 が高橋俊幹事補より紹介された。穂積委員長より，現在の電気学会の枠組みでは，調査専門委員会は単一の技術委員会での主催である必要があるため，本調査専門委員会は放電技術委員会より設置趣意書を提出していること，また，インバータサージ関連の次期調査専門委員会は当技術委員会が主格になること，研究会は当技術委員会と放電技術委員会の共催とすること，当技術委員会への本調査専門委員会の活動報告は議事録の紹介程度になることなどが報告された。これに対し，設置趣意書の目的に記載されている活動形態などの事項に当技術委員会の関与が明記されるべきではないか，などの議論があり，次期調査専門委員会の設置時より注視することとした。

7. 調査専門委員会フォローシート

資料 186-6 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

- 「インバータサージ」は正式名称を「繰り返しインパルスにおける部分放電計測」とし，07 年 08 月設置，10 年 07 月解散であることが確認された。また，放電技術委員会の主格で設置されていることから，フォローシートでは，参考扱いとすることとした。
- 「高電界電気絶縁における電界挙動と界面」は原稿が出そろっている模様との報告が穂積委員長よりあった。
- 「機器絶縁の最新部分放電計測技術」については，何らかの方法で活動を終息させるよう，幹事団および関係者で協議することとした。
- 「電力設備の・・・」は 5 月 21 日に委員会を開催した旨，報告があった。

・「ナノコンポジット誘電体の・・・」は 5 月 18 日に講演会を開催したこと，6 月 28 日に研究会，7 月 27 日に東京支部講習会，8 月 23 日に関西大学にて委員会を開催することが報告された。

・「屋外用ポリマー・・・」は 3 月 27 日に委員会を開催した旨報告があった。

・「電力機器絶縁診断の・・・」は原稿が出そろった旨報告があった。

8. 平成 19 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)

資料 186-7 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

・9 月 11 日の秋田での研究会は秋田大学にて開催することが決定し，見学会も開催される旨，穂積委員長より報告があった。また，IEEE DEIS Japan Chapter 協賛とすることとした。

・6 月 28 日開催の「ポリマーがいし」研究会は発表 6 件，同日の「ナノコン」研究会は発表 13 件であることが資料 186-8 および 186-9 にて確認された。

・12 月開催予定の「プリント基板，環境対応材料」研究会の担当委員から，山野委員，鈴置前委員を削除することとした。

・H20 年 1 月開催予定の「有機エレクトロニクス」研究会の担当委員から，金子前委員を削除することとした。

9. 誘電・絶縁材料研究会

資料 186-8 および 186-9 が紹介された。多数の参加が期待される旨，穂積委員長から依頼があった。

10. 誘電・絶縁材料研究会企画案

資料 186-10 に基づき，穂積委員長より報告された。9 月 11 日開催予定の研究会は秋田大学・ベンチャービジネスラボラトリーで開催予定であることなどが報告され，八戸での B 部門大会前日であることなどもあり，多数の投稿および参加を期待するとの穂積委員長のコメントがあった。

11. 第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムについて

資料 186-11 について高橋俊幹事補から説明があり，以下の議論があった。

・産学連携セッションは資料 186-10 の裏面記載のプログラムとする旨，穂積委員長より報告があった。

・特別講演，企画セッションについては，三菱電機・木村氏に調整頂いている旨，穂積委員長より報告があった。本件は幹事団にてフォローすることとした。

12. 2008 年度 電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 学術貢献賞 犬石賞および電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 技術貢献賞 矢作賞の推薦募集について

資料 186-12 に基づき，内田幹事より説明があった。当技術委員会の Web Site にて推薦募集を掲載するとともに，識者への推薦依頼も視野に入れて推薦募集をすることを幹事団にて検討することとした。

13. ISEIM2008

資料 186-13 に基づき，高橋俊幹事補より説明があり，以下の議論があった。

・Call for papers の図案等については，幹事団一任とした。

・International Advisory Committee の Chairman については，Dr. Bulinski より辞退する旨連絡があったため，Dr. Stone を軸に幹事団にて調整することとした。

・7 月上旬に開催の ICSD にて Call for papers を配布できるよう，作業を進めることとした。

14. 経産省・NEDO 策定「省エネルギー技術戦略 2007」への対応について

A 部門研究調査運営委員会より，経産省・NEDO 策定「省エネルギー技術戦略 2007」に関連する当技術委員会関連の技術について報告を要請された。これに対応するため，資料 186-14 を提出したことが高橋俊幹事補および穂積委員長より報告された。

F. 見学会

技術委員会終了後，15:20 より，岡崎市・分子科学研究所の見学会を実施し，極端紫外光研究施設，分子制御レーザー開発研究センターおよび電子顕微鏡を見学した。

G. 次回委員会

8 月 27 日，28 日開催予定の A 部門大会の会期中に開催することとした。なお，詳細日程および場所は調整の上，追って周知することとした。

以上